



たもんじ 2025年3月号 交流農園便り Vol.84



じゃがいもの種芋植え&春雨鍋作り 開催!

親子遊び『元気いっぱい』尾谷有里子さん



2/23(日)親子遊び「元気いっぱい」は、たもんじ交流農園をお借りして“じゃがいもの種芋植え&春雨鍋作り”を開催、大人7人、子供10人の親子が参加しました。“じゃがいもの種芋植え”では、野菜が普段どのように育っているのか、実際にクワを使い、畑作りからの作業は子供たちも力仕事でした。また“春雨の鍋作り”では、実際に野菜を洗ったり、包丁で切ったり、スープの味付けまで自分好みに考えたりして、



普段は野菜を食べない子供たちが「美味しい!おかわり!」の声が止まりませんでした。野菜が育つ過程や、道具を大切にすることなど、自分で自ら考えて行動することで、達成感を通して食育を子供と一緒に学べてすごく楽しかったです。

たもんじ農園との出会いは「元気いっぱい」代表の皆川さんと、地元の墨田区に畑があるらしいと調べたことがきっかけでした。実は私は自宅の庭で、今年初挑戦の枝豆、とうもろこし栽培を、家庭菜園で独自で試すほど昔から土いじりが大好きなので、今後とも子供たちは勿論私自身も楽しませて頂こうと期待しています。よろしくお願い致します。

“てらたま農園部から”

第40回~寺島なすの種を体温で温める?!~

寺島なすに限らず「ナス」の種は寒暖の差で発芽が促進されるそうです。農園では種を植える前に種を体温で温めて根出しをします。これ、やってみると「鳥が卵を温めるってこんな感じ?」の感覚になります。やり方は水を含ませたキッチンペーパーに種を挟み、ジップロックに入れます。下の2か所に切り込みを入れて種が呼吸できるようにします。昼間は暖房の効いた20度前後の部屋に置き、夜はパジャマのポケットに入れて35度前後の体温で温めながら寝ます。私は腹巻に入れて寝ていました。一週間近く経つてくると種から白い根がひょろひょろと出てきます。この時の感動といったら、まるで卵からヒナを孵した親鳥のような気持ちです。種という小さな生命体を実感できる瞬間です。



下2か所に切り込みを 親鳥の気持ち!?

発根した寺島なすの種は1月下旬~2月初旬にセルトレー 農園の温室に植えます。(今年は1/26に植えました。)その後は農園内にある温室に置き、成長を見守っていきます。葉(芽)が出てきた時もみんな喜び合いました。水やりは農園部のメンバー、農園会員さんと手分けをしながら毎日行っています。小さな苗が温室の中で少しずつ大きくなっていく様子を皆さんもぜひ観察してください。(記・中西)。

Free Coffee フリーコーヒー: 3/29(土) 12:00~13:00 農園を眺めながらコーヒーのある時間を楽しみましょう!
すみだ NPO フェスティバル: 3/29(土)、30(日) 10:00~17:00 隅田公園そよ風ひろば 両日とも専用ブースですみ里プロジェクトのパネル展示をしております。3/30(日) 14:30~15:30 は、うめわかさんとコラボで、牛久さんの講演や紙芝居、そして、うめわか音頭、寺島茄子之介音頭の踊りをご披露!! (させて頂くかもしれません)
水口アドバイザーご指導日: 4/13(日) 5/11(日) 10:00~15:00 農園部作業日: 毎週日曜 8:30~
わいわいおしゃべりタイム: 4/20(日) 5/18(日) 10:30~農園のみんなの情報交換の場。食べ物飲み物各自持参

新企画!!

はじめました!!

いくつになっても、新たに“はじめる”ことってあるものですね。新たなことを始めることの先には必ず「成長」や「感動」があるはず。たもんじ交流農園便り会員さん持ち回り執筆企画第5弾は『はじめました!』です。最近『はじめた』こと『はじめ』ように思っていること、教えて頂こうと思います。

第1回 富澤さん(区画4-1)の場合

あなたの近くにウクレレ眠ってませんか?親戚がハワイのお土産でウクレレ買ってきてそのまま放置されたりしてませんか? 昨年6月末のたもんじ交流農園イベント打ち上げで牧師の石川さんと出会いお酒の勢いもあり小川さん須貝さんとウクレレ習うことになってから早くも8ヶ月。60年前にピアノを習っていた事を思い出してもしや私の音楽才能が目覚



めると思いきや全くそのような気配はなく、ただひたすら1時間のウクレレレッスン終了後の反省会と称した養老乃瀧での飲み会を楽しみに通った10カ月でもありました。おおきな発見もありました。練習した当日できないことも何故か翌日ほんの少しできるようになっているという現実です。衰えていくことを実感していた私には新たな明るい発見です。下手でも楽しいウクレレをモットーにウクレレ隊メンバーとして活動を少しずつ広げていけたらと思います。皆さんも一度ウクレレ教室のぞいてみませんか(主催・墨田聖書教会 石川牧師 毎週火曜日 19:00~20:00)

NEXT STAGE

第21回 小川さん(区画9-2)

~次に私がしたいこと~ **“目指せ! 爺エンターテイナー!”**

70の手習い! 楽器演奏にハマっています! 「カンカラ三線」を手作りして、「すみだ大江戸バンド」(ユートリアドーム)で発表会! お客様も満席で、緊張感と楽しさが入り交じった、とっても貴重な体験をさせて頂きました! 皆川さんに感謝!

そして、ウクレレです。お誘いいただいた富澤さんに感謝!!。墨田聖書教会の石川牧師にご指導頂き「たもんじ交流農園」の仲間とウクレレ演奏を楽しんでいます!!



自宅でも練習に励んでいます



2/15 すみだ大江戸バンド発表会

コードを徐々に覚えていくことも、ストロークの種類が増えて少しずつかっこいい演奏になっていくことも、大声での弾き語りも、何もかもが新鮮ワクワクで、ボケ防止にもきっと役立っているはずです。

大好きな紙芝居やマジック、腹話術も、もっともっと練習して、目指せ“爺エンターテイナー!” 「たもんじ交流農園」のイベントや、老人ホーム、保育園などで披露できることを夢見ています!。(早速ですが、富澤さんの『はじめました!!』と被ってしまいました)



保育園の子供達に紙芝居

新連載!!

シリーズ『江戸の食生活と野菜たち』~第1回~ 農園アドバイザー 水口均



江戸という時代が始まったのは徳川初代将軍である家康が来てからということになるわけですが、このころの江戸はインフラの整備もあまりされていない地方の小国でした。ここから日本の首都となる江戸地にするため、家康はインフラ整備を最重点として江戸地を開いていきました。家康が行ったインフラ整備は街道の整備と飲み水対策でした。江戸城は海に近く、城から海側は城下町の整備とともに出土で埋め立てられていきました。海に近いので、江戸では掘り抜き井戸は塩が入った塩水が出てくるため、ため池や川などからの上水道を使った溜め井戸となります。都内の水道橋の地名は、谷の上を通る上水を通すための端名前が名残となっています。今でも東京で温泉は出ますが、塩分の含まれた塩っぽい温泉です。もともと江戸の地は侍と商人の住む町として発展していきますので、食べ物は周辺の国(武蔵国等)から農家が持ち込んで売り歩くという形態でした。(第2回に続く)



たもんじ交流農園便り

No.84 般 2025.3.26 発行

題字 田村風来門

編集 末林和之



HomePage

てらたま協議会

(NPO 法人 寺島・玉ノ井まちづくり協議会)

問い合わせ先 小川 剛(080-3421-3115)

▲セブン-イレブン記念財団 (2018年 2020年に助成金を頂きました)



FaceBook